告 示

埼 玉 県告示第九百三十九号

定 に 大規模小 おり よる意見の 縦覧に 売店舗立地法 供する。 概要につ 11 (平成 て、 同 十年法律第 条第三項 \mathcal{O} 九 規 +定 によ 号) 第 ŋ 公 八 条第一 告 L 項及 及 び 当 び 第二 該 意見 項 \mathcal{O} を 規 次

令和 Ŧī. 年 九 月 日

0

埼 玉 知 大 野 元

裕

意 見 \mathcal{O} 概 要

イ 大規 模小 売店 舗 \mathcal{O} 名称及び 所 在 地

仮 称 角 魚 類 草 加 店

埼玉 県 草 加 市 松 原 兀 丁 目 七 百 九 +番 三 \mathcal{O} 部

- 口 大規 模小 売店 舗 <u>\f</u> 地 法 第 八 条第 項 \mathcal{O} 規 定 12 ょ る 市 町 村 \mathcal{O} 意見 \mathcal{O} 概 要
- (1) 出 作 \mathcal{O} 期 業開 実施 ださ ガ 間 工 事開始 ス 中 。 エ 始 \mathcal{O} に い 建設 努め 日 程 前 七 な 機 て 内 に 日 お |容等に は近隣 械等 前 ください。 までに 特定建設作業 で行うなど、 ょ 住 つ 民 特定建設作業実施届 また、 て騒音・ \sim 騒音 (杭打作 工事 作業にあ • 振動 振動 に 伴 \mathcal{O} に · 業 • た 発生する場合 関 11 出書を提出 0 す 発生する公害 整地作業他) る説 ては低騒音、 明 \mathcal{O} は、 実施 L てくださ を行う場合 0) 抑制に努め 低 そ に 努め、 振 \mathcal{O} 動、 都 度 VI 低 説 工 は 排 事 明 7
- (2)出 1 騒音規 を \mathcal{O} 7 空気 制法 < だ さ 圧 • 縮機 振動 い 規制 送風機等) 法に基づ を設置する く特定施設 場合は設置三十日 (定格出力が 七 • 前まで 五. 口 に ワ 届 ツ
- (3)う、 空 調 設 置 機 位 \mathcal{O} 置 室 日や排気 外 機等 П を 設 \mathcal{O} 置 向 きに す る際 配 慮 に は、 7 近 < 、ださ 隣 カュ 1 5 \mathcal{O} 騒 音 \mathcal{O} 苦 情 が 出 な 11 ょ
- (4)カュ 11 て障 当 対 該 宇解消 建築物 応 してく 0 対策を実施 建築に ださ い 起因 す す る るテ £ \mathcal{O} と レ Ļ ビ等 電 \mathcal{O} 受信 波 障 害 障 害 \mathcal{O} 苦情 は が 開 出 発 た場合 者 \mathcal{O} 責 任 速 に B お
- (5)IJ 埼 グ 玉 県 ス 生 1 活 ツ 環 プ を周 境保 全 知 条 例 て 第 ださ 兀 + い 条に基づき、 (看板等の 設置義務あ 駐車場に看板等 *y* で T 1 K
- (6) 倉 三五. 庫 止 工 六 \mathcal{O} 丰 場合 + 市 民 日 口 は 前 \mathcal{O} ワ 倉庫 環 ツ ま 境 で 確約 に を 以 行 確 上 保 \mathcal{O} 書 0 を提出 7 す 原 る 動 条 機 だ を さ 例 に基 用 て 11 ください。 V づ て作業を行う場合は、 < 特定工場の な お、 定格出 設置 許 可 草 力 加 \mathcal{O} 申 請 市 合 を 公 工 害 が
- (7)草 加 ださ 市 公 害 V を 防 止 市 民 \mathcal{O} 環 境 を 確保 す る条 例 に 基づ 規 制 基準 -を遵守

(8)おり、 としての利用による周辺環境の悪化などが懸念されるところです。 本届出 更なる渋滞悪化や、 地に接する国道四号やその周辺の市道では慢性的な渋滞が発生して その他の周辺道路にお いても渋滞を避ける抜け道

した場合は、 くよう要望します。 つきましては、 引き続きその課題解決に 店舗立地後においても渋滞等、 向けて本市との協議を継続していただ 店舗立地に伴う課題が 発生

一縦覧期間

令和五年九月一日から令和五年十月一日まで

三 縦覧場所

埼玉県産業労働部商業・サービス産業支援課

埼玉県東部地域振興センター